

この台本の記載は、本編音声とは一部内容が異なることがあります。」

受付からプレイルームに移動した二人。床に正座させられた主人公の前に、ローザが立つ。

【ローザA】私に何か言うことがあるんじゃないの？

主…え……？

【ローザA】え……じゃないよ。女王様に対して言うべきことがあるだろう？

主人公、何をこたえてよいかわからず戸惑う。

【ローザA】……あきれた。ここまで礼儀知らずとはね。いい、さっきお前は、私の命令に逆らってお漏らししてしまっただろう？ だったら詫びなくちゃいけないんじゃないの？

【ローザA】ローザ様、勝手にお漏らししてしまい、申し訳ございませんでした。これからは必ず言いつけを守りますって言わなくちゃならないだろう？ ほら、言ってごらん。

1

主人公、言われたとおりに謝る。

【ローザA】はい、よく言えました。でも……罰は罰として、しっかり受けてもらうよ。ほら……目をつぶりな。

これからローザが二人に。主人公を左右から挟み込む。

【ローザA】ふうー……

【ローザB】ふうー……

【ローザA】お前みたいなマゾブタの相手をするには一人じゃ足りないわ。だから……。

【ローザB】二人でお仕置き……してあげる。

【ローザA】ほら……目を開けて……こっちにおいで。

【ローザB】四つん這いになりな。

【ローザA】お尻突き出してごらん。……もっと、もっと突き出すんだよ。

主人公、ローザの指示通り四つん這いになる。

【ローザB】くすくす……恥ずかしい格好なこと。

【ローザA】これから、なに……されると思う？ もう一度目をつぶってごらん。

（ムチが空を切る音）

【ローザA】くすくす……なにビクついてるんだい？ もうわかったろう。目、開けてごらん。

【ローザB】女王様の命令が聞けなかったダメなマゾブタを、このムチで調教してあげる。命令違反がどんなに罪深いことか……身体で思い知らせてあげるわ。

2

【ローザA】ほら、そのブサイクなお尻……真っ赤に腫れ上がるまでしばいてもらいな。齒……食いしばりなさい。

【ローザB】行くよ……ほらっ！

【ローザA】うふっ、いい音♪

【ローザB】ほらっ、ほらあっ！

【ローザA】痛い？ ふふ……安心しなさい。すぐに気持ちよくなるわ。んふふっ。

【ローザB】この礼儀知らずのっ！ マゾブタがっ！ 勝手にっ！ お漏らししてっ！ 本当にだらしのないねお前はっ！ 今からたっぷりしつけてあげるからっ！ 覚悟しなっ！

【ローザA】これ…お前のために打ってあげてるんだからね。マゾブタのお前が少しでも人間らしくなるために…心を鬼にしてムチを振るってるんだからね。ほらあ、齒を食いしばって…女王様の愛のムチを受けなさい。

【ローザB】お前みたいなやつはっ！ 見捨てても構わないんだからねっ！ ほらっ！ 腰…ひっこめるんじゃないよ。もっと突き出しな。

【ローザA】どう、女王様の愛のムチのお味は？ これがお前のムチ初体験なんだってね。痛い？ それとも…気持ちいい？ くすくすっ♪

【ローザB】お前はなに叩かれるたびにお尻を動かしてるの。いやらしいね。黙って私のムチを受けられないの？ ん？ ほらっ。ほらっ。

【ローザB】んふ…んふふふっ…。んふふふっ…。んふっ…。んふふふふっ…。んふっ…。んふふふっ…。んふふっ…。んふ…んふふっ。ん

【ローザA】ほら、お礼言っでごらん。僕のようなマゾブタをしつけていただいてありがとうございますって。

主…あ、ありがとうございましたゆっ、うああっ。

【ローザB】なにそのとってつけたようなお礼。私が何のためにお前の汚いケツにムチをあげてるか…まるでわかってないんじゃないの？

【ローザA】ていうかお前…、なにチンポ勃起させてるのさ。女王様にムチをいただいて興奮しちゃったの、マ・ゾ・ブ・タ・くん？ くす…くすくすくすっ。

【ローザB】ほんと。あきれたわね…。しつけてもらってるのにチンポ勃起させるなんて。くすくすくすっ。

【ローザA】ほら、謝りな。チンポ勃起させてごめんなさいって。

主、言われたとおり謝る。

【ローザB】なにがごめんなさいよ、このマゾブタがっ！ ほらっ！ ほらっ！ ほらっ！

【ローザA】犬みたいにチンチンの恰好してごらん。お前の勃起チンポ、よく見せて。

【ローザA】あゝあ、こんなにチンポ上向かせて……。バッキバキじゃないコレ。くすくすくすつ。

【ローザA】ねえ、これ……。先っぽからマゾ汁までたらして……。こんなに糸引いちゃって……。ヤらしいマゾブタだね、お前は。

【ローザA】なに恥ずかしがってんのさ。お前が出したマゾ汁だよこれ。自分の手ですくってごらん、ほら。右手の指先にマゾ汁を絡めて……。その指……。どこに持っていくかわかるだろう？

【ローザB】ほら、口開けて……。舌……。出しな。お前の指についたマゾ汁……。きれいに舐めとってごらん？

【ローザA】おいしい？ ん？ よかったねえ。くす……。くすくすくすつ♪

【ローザB】もう一回指にマゾ汁塗り付けて……。今度はその指、口の中にくわえてごらん。

4

【ローザA】くすくす……。くすくすくすつ。ねえお前……。自分がいまだけ恥ずかしいことしてるかわかってる？ ムチでケツしばかれて……。チンポからマゾ汁ダダ漏れにさせて……。そのマゾ汁をぺろぺろ舐めさせられて……。

【ローザB】恥ずかしいなんてもんじゃないはずなのに、チンポますます勃起させて……。恥ずかしいのが好きなんだね、お前は。さっきも受付のお姉さんに悶えてるところ見られて興奮してたもんねえ。

【ローザA】ほんととヘンタイ。

【ローザB】このヘンタイマゾが。

【ローザA】なにヘンタイって言われて喜んでるのよ。くす……。くすくすくすつ。自分がおかしいってこと……。ちゃんと認識してる？

【ローザB】もっとしつけてほしい？ ん？ これ……。ムチがほしいんだろう？

【ローザA】ムチで叩かれるたびに、お前がどれだけいやらしくて、情けなくて、恥ずかしい存在であるか……、身体に……、そして心に刻み込まれていくの。そうよね？

【ローザB】お前みたいなマゾブタが、私にかなうわけないの。言葉と、このムチで……、私はお前の心を簡単に屈服させることができる。

【ローザA】私には絶対になわなないって心に深く刻み込んであげる。くす……くすくすくすつ。

【ローザB】私の言葉と、私のムチに、お前は絶対に服従する。逆らおうなんて気……ないでしょ？ これっぽっちも。DMだものね。くすくすくすくすつ。

【ローザA】なに泣きそうな顔になって。うれしくせに。くすくすくすつ。私の言葉で脳みそ犯されて……頭の中すごいことになってんでしょ？ ねえ？ くすくすくすくすつ。

【ローザB】ほら……お望み通りムチをあげる。お前のケツ……真っ赤に染めてあげるわ。たっぷり堪能しなっ！

5

【ローザB】あははっ……、ほら……、ほら……、ほら……、あははっ……。んふふふふふふつ、んふつ、んふふふふふふふふふふふつ、んふふふ、んふふつ。

【ローザA】あゝあ、しばかれるたびにチンポビクビクさせて。お前の身体、痛みと快楽と……、どっちが優先されるんだろうね。試してみようか。オナニー……してごらん。

【ローザA】いつも自分でしてるみたいにしこしこしこつて。……ほら、さっさとやる！

【ローザA】そう、そうやって激しくがーってやってるんでしょ、いつも。女の人に責められてるところを想像して、チンポしごくんでしょ？ ねえ？ 違う？

【ローザA】さっきみたいにチンポ激しくしこしこされてえ、女の人の前でアンアン喘ぎながらイカされちゃう……。そういうところ想像しながらオナニーしてるんじゃないの？ ん？ マゾオナニーしてるんでしょ、ねえ？

【ローザA】手、緩めたらタダじゃおかからね。私がいいっていうまで、オナニーし続けるんだよ。

【ローザA】言っとくけど、これ……、お前を喜ばせるためじゃないよ。まだオシオキは続いているからね。お前がちゃんとオシオキをまっとうに受けられるか……試してあげる。

【ローザB】今度お漏らししたら、そうだね……バラムチじゃなくて一本ムチでオシオキしてあげようか。みみずばれになって一週間はあとが残るよ。試してみる？ んふふふつ。

【ローザA】いやなら、ちゃんと我慢しな。それとも……今すぐ一本ムチに変えてあげよっか？ ん？

【ローザA】ほら、手が緩んでる！

【ローザB】ちゃんとしなっ！

【ローザA】耳……舐めてあげる。嫌でもオナニーの手が早くなっちゃうだろう？

【ローザA】ムチでケツをしばかれながらのオナニー……そんなに気持ちいい？ ん？ ほら……もっとチンポしごいて見せな……。

【ローザB】ほら……、ほら……、ほら……、しごけ、ほら。んふ……んふふふつ、んふふふふふふふふつ。んふふつ、んふつ、んふふつ、んふふふふふふつ。

【ローザB】ほんとに恥ずかしい男だねお前は。叩かれれば叩かれるほどオナニーの手が早くなっていくじゃないか。そんなにケツをしばかれるのがいいのかい？ ん？ ほらあつ。

【ローザA】チンポ気持ちいいねえ？ 女王様にオシオキされながらチンポシコシコするの、最っ高に気持ちいいねえ？

【ローザB】こおのマゾブタがつ。ほらっ、ほらあつ。だらしない声で泣け。ほら、泣いてごらんっ。

【ローザA】ほら……ありがとうございますってお礼言わなくちゃダメでしょ？女王様のお手を煩わせてるんだからね、お前は。ありがとうございます、お尻氣持ちいいです、チンポ氣持いいですって泣きな、ほら。

【ローザA】何度も何度も、続けて言わないと。もっと感謝してもらわなくちゃねえ？

【ローザA】ほらもっと恥ずかしい声出してごらん？スケベで淫乱で、救いようのないDMが出す、みじめで情けなくて恥ずかしい泣き声……、私たちに聞かせてごらん？

【ローザB】ブヒブヒとしか聞こえないねえ、お前の泣き声は。うれしいかい？うれしいだろ？ほおらっ。自分がどれだけ情けない存在か……、ムチでしばかれるたびに身に染みるだろう？ほらっ。

【ローザB】ああいい声なこと。もっと聞かせてごらん。ほら、ほら、ほら。泣け。ほら……もっと泣け。

【ローザA】こんなにづらい言葉を浴びせられてるのに、チンポガツチガチにして……。チンポ氣持いい？ん？氣持いいの？ほら……泣きながらチンポしごき続けな？ほら……ほらほら……。

7

【ローザA】自分がどれだけみじめで情けない存在かを思い知らされて、でも……チンポは氣持ちよくてたまらない……。だんだんイきそうになってきたんじゃないの？ん？

【ローザA】オシオキされてるのにチンポイきそうになるだなんて……、くす……くすくすくすくす。ほんとあさましい男だねお前は。イっちゃう？ん？イっちゃうの？

【ローザB】言っとくけど、お漏らしを許可した憶えはないからね。わかってるんだらうね。

【ローザA】なに泣きそうな目で私のこと見て。そうやって哀れな目を向ければ許してもらえんでも思うわけ？バカだねお前は。もっともって苦しめてあげるに決まってるじゃないか。

【ローザB】ほら、手……緩んでるっ。

【ローザA】なに、お許しくださいって。何を許してほしいの。言ってごらん。

主…もういきそうですっ。あああああつ。

【ローザA】もういきそうなの。へえ、それで。

【ローザB】イきたいならイけばいいじゃないの、別に。私たちはまだ許さないけど。お前…、女王様のお許しがないのに勝手にお漏らししてしまう最低のマゾブタ確定ってことでいいんだね？　なら、イけば？

【ローザA】私に服従したいんだろ？　私に調教されたいんだろ？　私に心も体も踏みにじられたいんだろう？　なら…：奴隷として最後まで根性みせてごらん。あと十秒間、必死でチンポしごきな。我慢できたら、勘弁してあげる。

【ローザA】10、9、8、7、6、5、4、3、2、1、0

【ローザB】ほら…：、根性見せなっ。ほらっ、ほらあつ。

【ローザA】我慢できたじゃないか、えらいえらい。いい子だ。頭…：なでてあげるよ。  
8